

クロステラス盛岡

CROSTERRACE MORIOKA

No. 05-019-2011作成

新築／まちづくり
物販／飲食

発注者	三田農林株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	KAJIMA DESIGN		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	鹿島建設		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

地元商店街との共生を目指す地域密着型施設

盛岡の中心市街地活性の核となるべく構想された商業施設である。

駅からの人通りを自然に施設内に導き、商店街へ通り抜ける「人の流れ」を創り出した。

大通と一体となり緩やかに弧を描くガラス面は、東北地方の木立をモチーフに軽やかなリズムを街に伝え、夜は街灯りとして機能する。地産木材の使用は地域密着の象徴である。



盛岡駅からの人の流れを大通り商店街へ導く、新たな「街の顔」



樹齢90年超の地元産アカマツの曲り材

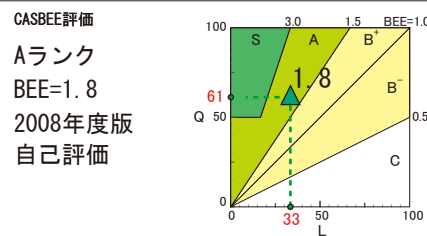


駅から大通商店街への人の流れを創り出す

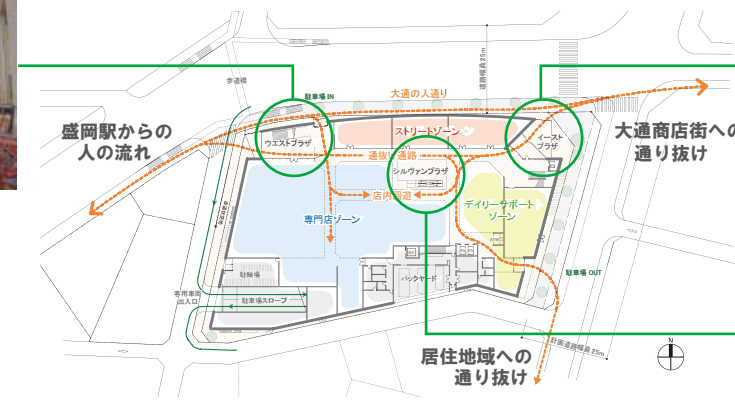
- 周辺居住者、通勤・通学者の日々の生活支援。
- 郊外大型ショッピングセンターとの差別化。
- 地元商店街との共生を目指す地域密着型施設。

建物データ

所在地	岩手県盛岡市
竣工年	2009年
敷地面積	5,423 m ²
延床面積	15,856 m ²
構造	S造
階数	地上5階



ウエストプラザ



シルヴァンプラザ



イーストプラザ

イベント空間計画

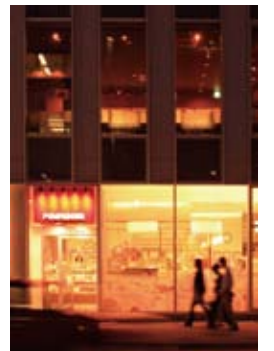
- 大通商店街を含めた地域のイベントスペースとして、施設内に性格の違う3つのプラザを計画、オープン以来、毎週末はいずれかのプラザでイベントが開催され続けている。
- 地産木材を積極的に活用したスペース創りを目指している。

街並みを映すガラススクリーン

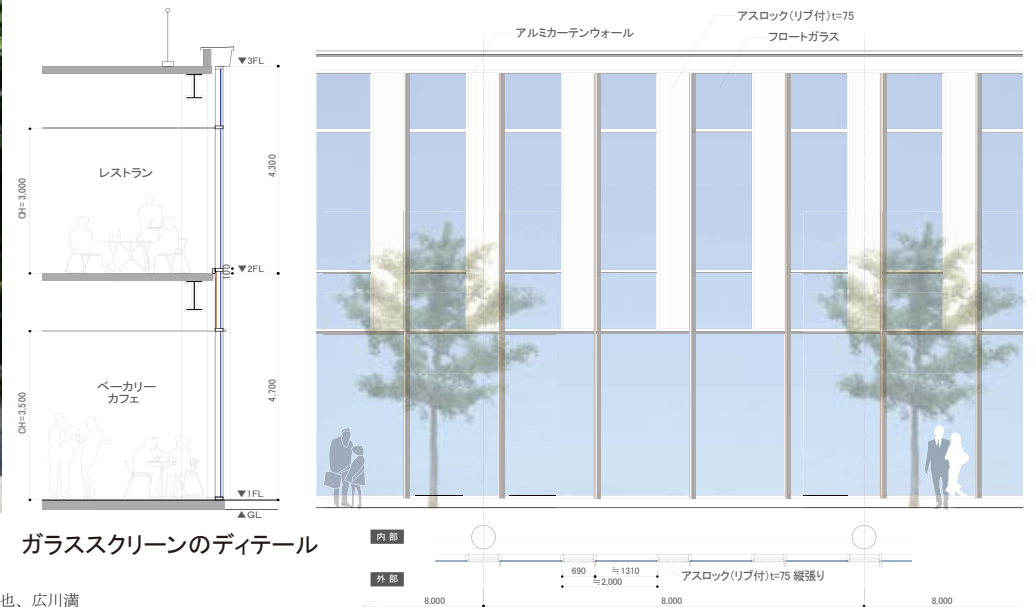
- 大通と一体となり緩やかに弧を描くガラス面は、軽やかなリズムを刻み、街の賑わいを表情豊かに壁面スクリーンに映し出す。



外装のカーテンウォールのリズムが店内レイアウトに活かされている。



店舗からもれる灯りが大通を照らす。



ガラススクリーンのディテール

設計担当者

統括：浜田優／建築：高田輪太郎、須都信義、寺島卓也、広川満
／構造：中島康宏、鈴木隆志 / 太田和好、鈴木順一、小林弘樹、白石隆宏

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3.2. まちなみ・景観への配慮 (高さを抑制、ポリウム感、端正な色彩、街並みに新たなシンボル性、駅と商店街を繋ぐ)
- Q3.3. 地域性・アメニティへの配慮 (地域性のある材料使用、建物内外を連続させる空間づくり、建物使用者の参加性)